

第4章 工事現場における監督員の安全確認

1 作業員の服装、保護具について

- ・ 作業に適した服装かどうか。
- ・ 作業に適した靴を履いているか。
- ・ ヘルメットの着用状況は良いか。
- ・ 作業毎の保護具は使用されているか。
- ・ 工事責任者、配管工等が明示されているか。

2 保安対策

- ・ 作業区域は最小限か。
- ・ 作業区域はトラ柵、セーフティーコーン等で囲み、明確にしてあるか。
- ・ 保安設備については、道路使用許可申請書に添付された保安設備図のとおり設置されているか。
- ・ 道路使用許可証について、提示を求められたときに出せる状態にあるか。
- ・ 作業車両の停止位置は適切か。
- ・ 誘導員の配置はどうか。
- ・ 歩行者の通路の確保、安全はどうか。

3 作業

- ・ 現場代理人、主任技術者は現場にいるか。
- ・ 作業主任者は、有資格者か。
- ・ 作業前の地下埋設物の立会いはされているか。
- ・ 作業手順は適切か。
- ・ 土留めは適切か。
- ・ 深さ1.50m以上又は必要に応じて土留め支保工が設けられているか。
- ・ 土留め矢板の背面に隙間はないか。
- ・ 作業車両の誘導はどうか。

4 その他

- ・ 現場代理人

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、請負人の代理人として工事現場の取締りを行い工事の施工に関する一切の事項を処理するものであり、通常当該工事現場に常駐することとされている。